

普及項目	担い手
漁業種類等	養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	熊本有明海

有明地区漁業士会による「漁業体験教室」の開催支援

県北広域本部水産課・直江 瑠美

【背景・目的・目標（指標）】

有明地区漁業士会（以下「漁業士会」という。）では、漁業・漁村地域を身近に感じてもらい、漁業への理解を深めてもらうことを目的として、児童を対象に平成10年（1998年）から令和元年（2019年）まで地びき網漁業体験教室やノリ手すき体験教室を実施してきた。

令和4年度（2022年度）からは、小学校での「ノリ出前講座」を実施し、有明海の基幹産業のノリ養殖業について多くの児童に理解を深めてもらうとともに、漁業士会やおいしい海苔のPRを行うことを目的に県北広域本部水産課が事務局として開催を支援した。

【普及の内容・特徴】

1 地びき網漁業体験教室

日時：令和6年（2024年）6月1日（土）9時15分～15時00分

場所：松原海水浴場（熊本県玉名市岱明町鍋）

参加者：玉名市立高道小学校の児童・保護者 合計137名

漁業士会会員18名、事務局等15名

内容：学習会として、有明海の自然環境や漁業についての理解を深めてもらうために、事務局から、有明海の特徴や地びき網漁業を体験するにあたっての注意点等を説明した。その後は、県産水産物への関心を高めるため、県産のアサリの貝汁やマダイの刺身等を振舞った。

地びき網は、地元の「地引網保存会」の協力を得て、児童や保護者、漁業士が一丸となり曳網した。漁獲物は、大量のヒイラギ、コノシロ、シロギス、ダツ等であり、大漁の成果に児童は喜んで漁獲物を手にしていた。地びき網体験後は、地びき網で獲れた魚について名前当てクイズを交えながら説明し、最後に海浜清掃を行い、漁業や漁業環境への理解醸成を図った。

2 ノリ出前講座「おいしいノリができるまで」

（1）益城町立津森小学校

日時：令和6年（2024年）9月6日（金）13時45分～14時30分

参加者：児童（4年生1クラス）26名、教員3名

（講師）漁業士会会員1名、事務局1名

（2）荒尾市立府本小学校

日時：令和6年（2024年）9月26日（木）13時45分～14時30分

参加者：児童（5年生1クラス）10名、教員1名

（講師）漁業士会会員4名、事務局1名

（3）内容：漁業士が講師となり、小学校4・5年生を対象に「おいしいノリができるまで」をテーマとした授業を実施した。授業では、ノリの生産工程を説明し、持参したノリ網、伸子棒、ラッカサンなどの漁具を紹介した。併せて、「おいしいノリができるまで」のチラシと県産の「焼のり」を全児童及び教員の合計約230名に配布し、漁業

士会や熊本県産海苔のPRを行った。

【成果・活用】

今年度は、地びき網漁業体験教室を4年ぶりに開催することができ、参加した児童からは、地元の海にたくさんの種類の魚がいることに驚いたという声を聞くことができた。

また、ノリ出前講座は、2市町2小学校の児童、先生に漁業士会やおいしい海苔をPRできたことに加え、児童の質問にも丁寧に答えたことで、児童からは、将来はノリ養殖業者になりたいという声を聞くことができた、漁業への関心を高めることに繋がった。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図1 地びき網漁業体験教室



図2 漁獲物に興味津々な児童達



図3 ノリ出前講座（府本小）



図4 廊下でノリ網を広げた様子（府本小）

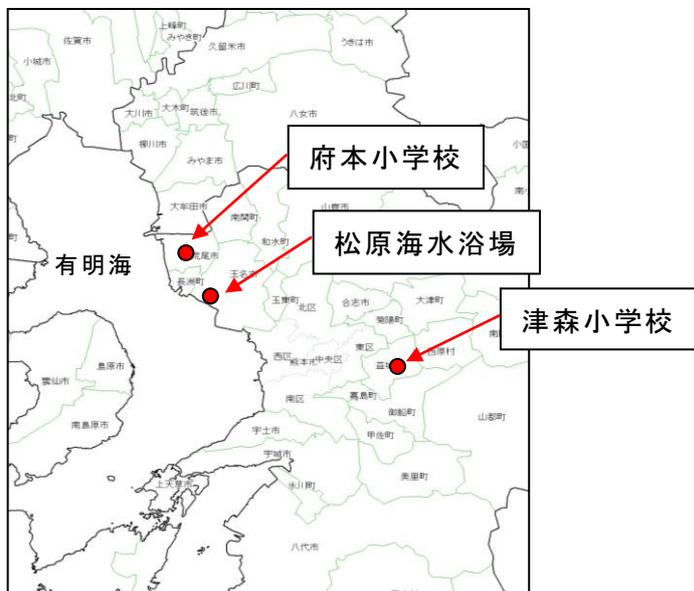


図5 位置図